



山崎中学校だより

No.7(10月号) 号外

令和8年10月26日

町田市立山崎中学校

校長 小平 千佐子

〒195-0074

町田市山崎町1445

042-793-1021

学校HPIはこちら⇒



「10月号」の号外です。紙面に収まり切れなかった内容について、ホームページ上で公開します！



星の輝きは、一人では生まれない
～合唱祭が教えてくれた「支え合うこと」の大切さ～

副校長 治田 修幸

去る10月14日（水）、町田市民ホールを舞台に合唱祭が開催され、各学年、各クラスの歌声が会場いっぱいに響き渡りました。体育祭が終わった直後から準備を始め、本番までの数か月間、仲間とともに練習を積み重ねてきたみなさん。その「努力」が輝いた一日となりました。

今年度の合唱祭のスローガンは、

「Shine Like stars ～星のように輝け 一瞬のハーモニー～」

でした。一人一人が星のように輝き、その光で会場全体を包み込みたい。そんな願いが込められています。

ところで、星には、自ら光を放つ「恒星」と、自らは光を放たず、恒星の光を反射して輝いて見える「惑星」や「衛星」があります。恒星は、中心部で「核融合反応」という現象を起こし、莫大なエネルギーを生み出して光や熱を放っています。一方、惑星や衛星は、太陽などの光を受け、その光を反射することで輝いて見えるのです。



合唱祭の舞台に立ったみなさんは、まさに恒星のように、一人一人が自分の輝きを放っていました。しかし、その輝きは、自分一人の力だけで生まれたものではありません。惑星や衛星が太陽などの光を受けて輝くように、仲間の支えがあったからこそ、より一層輝くことができたのではないのでしょうか。

その支えとなっていたのが、合唱祭実行委員、指揮者・伴奏者、パートリーダー、イメージ画担当など、さまざまな役割を担ったみなさんです。

合唱祭実行委員は、クラスの練習を進めるだけでなく、行事の企画・運営にも携わりました。当日も朝早くから集合して舞台や会場の準備を行い、終了後は遅くまで残って片付けをしていました。

指揮者・伴奏者は、夏休み中も登校し、練習を重ねていました。学校だけでなく自宅でも繰り返し練習し、本番でみんなの期待に応えようと、失敗できないというプレッシャーとも向き合ってきたことでしょう。

パートリーダーは、仲間よりも早く自分のパートのメロディーを覚え、練習後にはあえて厳しい指摘をするなど、よりよい合唱を目指して責任を果たそうとしていました。また、イメージ画担当のみなさんは、歌詞の世界を絵で表現し、クラスの合唱づくりに彩りを添えました。

こうした努力は、必ずしも舞台の上で目立つものばかりではありません。しかし、一つの行事が充実したものとなり、成功を収めるためには、陰で支え、周囲のために行動する人の存在が欠かせません。目の前の成果だけでなく、そこに至るまでの過程にも目を向けることが大切です。

自分自身が放つ光。そして、仲間の支えがあってこそ放つことのできる光。その二つが重なったとき、人の心を動かす本物の感動が生まれるのだと思います。今年の合唱祭は、歌声の美しさだけでなく、そこに至るまでの努力や仲間との絆が感じられる、感動に満ちた一日となりました。



この合唱祭に向けて、それぞれの立場で努力を重ね、仲間を支えてくれたみなさんに、心から感謝します。そして、みなさんには、日頃から自分の周りで誰かのために行動している人の存在にも気付ける人であってほしいと思います。

誰かの努力に気付き、感謝すること。そして、自分も誰かを支える一人になること。一人一人の輝きが互いを照らし合うことで、学校全体がさらに温かく、輝きに満ちた場所になっていくはずです。

山中の生活風景より

本号にて紹介しきれなかった学校の様子について掲載します！

地域で育む3校の強い絆～小中高合同研修会

9月16日（水）、「小中高合同研修会」が開催され、七国山小学校に山崎中学校・山崎高校の教職員が集いました。

グループ協議では、小中高それぞれの立場や視点から活発な意見交換が行われ、終始和気あいあいとした温かい雰囲気になりました。互いの教育活動への理解を深めるとともに、地域でとも

に子どもたちを育む3校の強い絆と連携をいっそう確固たるものにする、大変有意義な時間となりました。

これからも地域全体で手を取り合い、子どもたちの豊かな成長を見守ってまいります。



社会人としての第一歩!～職場体験に向けたマナー講座

10月15日（木）に、2年生を対象に職場体験学習に向けた「マナー講座」を開催しました。当日は町田公共職業安定所から講師の方をお招きし、礼儀作法やお辞儀・挨拶の仕方、丁寧な言葉遣いなど、社会人として欠かせない基本のマナーを実践的に学

びました。相手を思いやる気持ちを形にする大切さを実感し、生徒たちは背筋を伸ばして真剣に取り組んでいました。

今回身につけた素敵なマナーと心構えを意識しながら事前準備を進め、11月の体験本番に向けて自信を持って一步を踏み出していきましょう。

個性がキラリと光る味わい深さ!～地域と温かくつながる絵手紙体験

10月になり、美術部の活動において、地域の方を講師にお迎えして「絵手紙」の作成に挑戦しました。

ピーマンをモチーフにした制作では、同じ野菜を描いても、色遣いや構図、添える言葉など一人ひとりの着眼点や表現方法が見事に異なり、絵手紙ならではの味わい深い面白さがあふれる作品ばかりとなりました。地域の方と温かく触れ合いながら、表現する楽しさを存分に味わった美術部員たち。完成した心温まる作品は「まちかど子どもギャラリー」に展示予定です。地域との温かな繋がりを感しながら、アートの輪が広がっています。



手塩にかけて育てた野菜が絶品カレーに!～笑顔あふれる8組の調理実習

9月には、8組の調理実習にて美味しいカレーライス作りが行われました!

使われた食材は前日に自分たちで買い出した材料に加え、畑で大切に育ててきた自慢の採れたて野菜たち。包丁での切り分けから下準備、最後の後片付けに至るまで、一人ひとりが自分の役割を責任持ってしっかりと果たしました。手塩にかけて作り上げた出来立てのカレーはまさに絶品!みんな夢中で頬張り、教室中に弾けるような笑顔が広がっていました。

自分たちで育てて作る喜びと達成感を心ゆくまで味わう、実り豊かな時間となりました。



言葉の壁を越えて心を通わせる!～笑顔あふれる「イングリッシュフェスタ」

10月8日(木)、分教室ゆめのきにて「えいごのまちだ」国際交流イベント「イングリッシュフェスタ」が開催されました。

はじめは英語に対して少し抵抗感や苦手意識のあった生徒たちも、ALTの先生方の陽気で温かな雰囲気と包まれると表情が和らぎ、身振り手振りを交えて一生懸命コミュニケーションに挑戦していました。「諦めずに伝えたい」という思いが届いた瞬間の歓びを実感した、大変貴重な体験となりました。

この経験を大きな自信に変えて、これからの学習や日々の交流に活かしていきましょう。

